

主要事業個別シート(第2次実施計画／H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	23002	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	室名	健康推進室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	02:地域医療の充実	款	04:衛生費
	施策の方向	01:地域医療体制の構築	項目	01:保健衛生費
	戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目	01:保健衛生総務費
事業予定期間 H 23 ～ H - 年度 主な根拠法令要綱等 亀山市地域医療再構築プラン、「亀山市立医療センターの今後の方向性について」に基づく病院改革プラン				

② 目的・概要	対象	三重大学
	目的	三重大学との連携を更に強化し、安定的に市立医療センターの医師を確保し、地域の医療体制を強化する。
概要	概要	三重大学が、市立医療センターにおいて総合診療・家庭医療・整形外科の診療体制整備と総合医・家庭医の養成及び亀山市をフィールドとした地域医療の研究を実施することに対し寄附を行う。

平成27年度			平成28年度			
③ 年度別事業計画 事業の計画	・講座設置協定書に基づく三重大学への寄附 (講座の設置・運営に必要な経費)		・講座設置協定書に基づく三重大学への寄附 (講座の設置・運営に必要な経費)			
	計画額	事業費	31,200千円	31,200千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	31,200千円	31,200千円		
	予算額	事業費	31,200千円	31,200千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	31,200千円	31,200千円		
	期間内総事業費(H27・H28)①		62,400千円	期間外事業費(H29以降)②	－	総事業費 (①+②)

④ 指標			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
	①	名称	三重大学への寄附		
		補足	亀山地域医療学講座の設置・運営経費として三重大学へ寄附		
		活動	計画値	寄附実施	寄附実施
			単位		
	②	名称	講座での研究・教育活動の実施		
		補足	市における包括的医療の実践による地域医療システム構築に向けた研究活動及び医師育成のための教育活動の実施		
		活動	計画値	活動実施	活動実施
			単位		
	③	名称			
		補足			
			計画値		
			単位		
	④	名称			
		補足			
			計画値		
			単位		

事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	23002	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	室名	健康推進室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	02:地域医療の充実	務 款	04:衛生費
	施策の方向	01:地域医療体制の構築	科 項	01:保健衛生費
体系	戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目 目	01:保健衛生総務費

② 目的・概要	対象	三重大学
	目的	三重大学との連携を更に強化し、安定的に市立医療センターの医師を確保し、地域の医療体制を強化する。
	概要	三重大学が、市立医療センターにおいて総合診療・家庭医療・整形外科の診療体制整備と総合医・家庭医の養成及び亀山市をフィールドとした地域医療の研究を実施することに対し寄附を行う。

			27年度	28年度
①	名称	三重大学への寄附	計画値	寄附実施
	補足	亀山地域医療学講座の設置・運営経費として三重大学へ寄附	実績値	実施
			単位	
②	名称	講座での研究・教育活動の実施	計画値	活動実施
	補足	市における包括的医療の実践による地域医療システム構築に向けた研究活動及び医師育成のための教育活動の実施	実績値	実施
			単位	
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画					年度実績		
④ 事業の計画・実績	・講座設置協定書に基づく三重大学への寄附 (講座の設置・運営に必要な経費)				三重大学に亀山地域医療学講座を設置し、医療センターに医師が派遣され、診療を通じた地域医療の研究・教育が継続して行われたことで、診療体制の充実につなげた。 また、これまでの研究や活動成果を伝える機会として、地域医療をテーマとした亀山市民大学キラリの講座を開催した。 さらに、講座の総合医が地域に出向いて、講話と対話を行う新たな取り組みをモデル(神辺)地区を選定し、開催した。		
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	2,579
	国庫支出金		0		一般職員人件費 ②	2,579	平均給与額×③
	県支出金		0		所要人員 ③	0.34	
	地方債		0		臨時職員人件費 ④	0	
	その他		0		受益者負担額 ⑤		
	一般財源	31,200	31,200	31,200	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再 翌年度への繰越額						
	掲 前年度からの繰越額		0				
	総人件費		①	2,579			
	総コスト		⑥	33,779			

⑤事業の評価	【事業の成果】		総合判定
	亀山地域医療学講座から派遣された医師が、研究を目的として実際に医療センターで診療を行ったことで、診療体制の充実が図られ、市民の健康を守ることに繋がった。また、市に適した医療体制や市民の健康に関する研究の一環として行っている受療行動に及ぼす要因の調査・研究等の成果も踏まえ、地域医療をテーマに亀山市民大学キラリの講座を担当し、市民への研究成果のフィードバックと地域医療に対する意識付けができた。さらに、講座の総合医が地域に出向き、講話と対話を行う新たな取り組みをモデル(神辺)地区で実施した。		A 順調に進んだ
	【反省点・課題】		
	亀山地域医療学講座の現状や内容を伝えるために、市民に地域医療について考えてもらう講座や学習会などの継続的な提供が必要である。そのため、市民への講和と対話を行う新たな取り組みをモデル地区で実施したが、他地区への展開が必要である。 また、これまでの研究成果を検証しつつ、当市に適した取り組みを市内に広げる検討が必要である。		
	【改善の方向性】		
地域包括ケアシステムとの連携を図りつつ、当市に適した地域医療体制の構築が継続的に必要である。 また、講座の研究内容については、これまでの研究成果をベースに、市民の健康を守り、健康寿命を延ばす取り組みの拡大に向けて、三重大学との協議を続ける。			
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 駒谷 みどり